

こんな活動です

経験を生かして、子供のために、誰かのために、私のために。

福岡県篠栗町

活動名

篠栗小校区づくり実行委員会

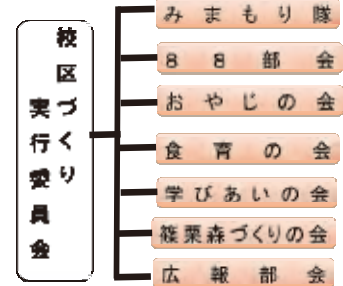
関係する学校名

篠栗小学校

基本データ	学校支援活動	● 統括コーディネーター数 1人	地域コーディネーター数 3人	ボランティア登録数 210人	学習支援 無	開始年度 19年度	国庫補助 無	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		実施場所		学習支援		放課後児童クラブとの連携			
	土曜日の教育活動	● 統括コーディネーター数 1人	地域コーディネーター数 3人	子供の平均参加人数 20人	学習支援 無	開始年度 19年度	国庫補助 無	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無
	コミュニティ・スクール	指定日					委員数	児童生徒数	学級数

体制図

篠栗小校区づくり実行委員会



活動の概要・経緯
 平成19・20年度に文部科学省の事業「学び合い、支え合い地域活性化推進事業」をきっかけに、子供の育成を中心に据えた地域づくりとして、区長（自治会長）を中心とした篠栗小校区づくり実行委員会が発足。平成21年度からは単独事業として事業継続。現在、実行委員会には7部会があり、小学校・中学校と連携・協働しながら、子供たちの登下校の見守りやあいさつ運動、小学校運動場の芝生管理（補植、水やり）などの学校支援、観月会の実施、体験学習として毎月第1～第4土曜日における教育活動などを行っている。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

小学校を核として実行委員会の学びあいの会（通称：棕の木クラブ）が中心となり、子供たちと地域の人とのふれあいや豊かな体験が生まれる活動として、毎月第1～4土曜日の午前中に小学校の余裕教室や多目的ホール、町の体育館、中央公民館の調理室などを使用し、地域ボランティアにより、10サークル（お茶・パステル・手芸・おどり・大正琴・卓球・写真・サッカー・ボール遊び・料理）が実施されている。昨年度は述べ82回のサークル活動が行われ、約1000名の子供たちの参加と地域ボランティア約300名により実施された。活動に当たっては、健康や安全に留意して活動を楽しむとともに、立派にできることだけが素晴らしいことではなく、活動の過程や試行錯誤、マナーを大切にしていることを基本に活動がなされている。

【実施に当たっての工夫】

土曜日の教育活動の内容については、学校の協力を得ながら子供たちへのアンケートを実施することにより、子供のニーズにあった活動を選択し実施できている。また、募集に際しても学校の協力を得ることで、スムーズに配布・回収ができています。

● 事業を実施しての効果・成果

- ・ 子供の満足感、達成感、自己存在感、感謝などの心の育みが生まれた。
- ・ 世代間の相互交流は、喜びや充実感を生み、生きがいづくりにつながっている。
- ・ 「地域大好きっ子」が増えている。
- ・ 学校と地域の信頼関係や協力関係がたく強くなっている。
- ・ 地域の力強い支援の中で、開かれた学校づくりが進展し、教育活動が充実してきている。
- ・ 地域の子供と大人が共に学び合う場になっている。



学びあいの会（棕の木クラブ）「手芸サークル」



学びあいの会（棕の木クラブ）「料理サークル」